

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 4月14日（月）

2 確認箇所

J 9 タンクエリア（図1）

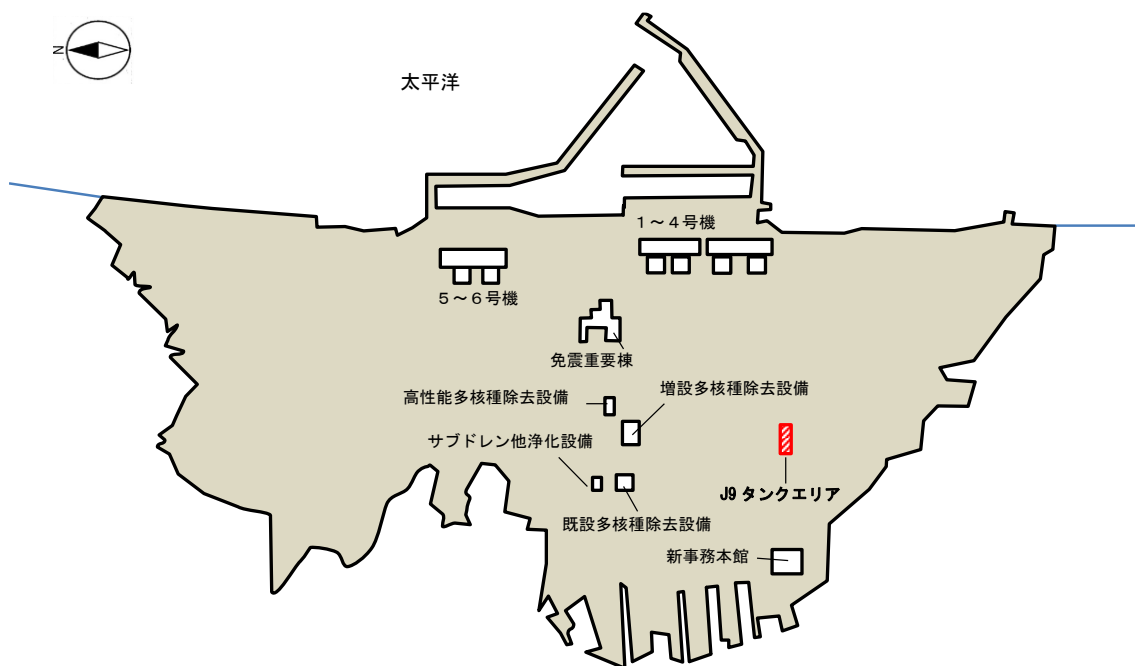
3 確認項目

J 9 タンクエリアタンク解体工事の状況

4 確認結果の概要

J 8 及び J 9 タンクエリア（ALPS 処理水貯留タンクエリア）は、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設が予定されている。このため、エリア内に設置された溶接型タンクの解体が令和6年度下期から令和7年度末にかけて計画されており、東京電力では溶接型タンク解体が初めての作業となることから、手順等を確認しながら他のタンク解体に向けての知見を蓄えるとしている。県では、前年度末の J 9 タンクエリアの解体工事開始直後からその状況を逐次確認してきており、今回は本年度における2回目の確認として同解体工事の実施状況を確認した。（前回確認：令和7年 4月 4日）

- ・ 現場では全12基中4基目の溶接型タンク解体が完了しており、当日は、解体片資材荷受け及び資材移動がタンク減容ヤード及び J 9 タンクエリア内において実施されていた。（写真1）
- ・ J 9 タンクエリアの西側に単管パイプで区画されたエリアがあり、解体された3・4基目のタンクやその付属品の解体片が仮置きされていた。（写真2）
- ・ 確認を行った範囲において、解体片の飛散等の異常は確認されなかった。
- ・ J 9 タンクエリアにあるタンク同士の連結管、床面の防水塗装及び雨水防止シートは、北側タンク A-1～6 の6基分が撤去されていたが、南側のタンク B-1～6 の6基分は、まだ撤去されていない状況であった。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

J9タンクエリアの状況①

(クレーン奥の4基については、
撤去済)



(写真1-2)

J9タンクエリアの状況②

(当日は、解体片資材荷受け及び資材
移動の作業が行われていた。)



(写真1-3)

J9タンクエリアの状況③

(資材移動は、クレーン車を用い、
タンク減容ヤード内で実施。)



(写真1－4)

J9タンクエリアの状況④
(J9タンクエリア内の4基は、既に撤去を完了。)



(写真2－1)

J9タンクエリア西側の区画①
(解体されたタンクやその付属品を仮置き)



(写真2－2)

J9タンクエリア西側の区画②
(資材品を仮置き)



(写真3)

南側タンクB-1～6の6基分の
雨水防止シートの撤去は、未了。

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。